

地域住民が助け合い、あらゆる世代が安心して充実した生活を送れるまちづくりを目指すために、生活・介護支援サポーター養成事業や安心生活創造事業などの高齢者等の福祉環境や、児童館、地域子育て支援拠点の新設などの子育て環境の改善に取り組みました。

また、突発的に発生する災害から市民の皆さんを守るため、若草・新生・若山地区の雨水排水対策事業に着手するなど、安全・安心の向上に取り組みました。

東日本大震災後の対応については、速やかに『震災対応市民連絡会議』を立ち上げ、市民の皆さんのご協力も得ながら、大津波における高台避難場所の設定などに取り組みとともに、地域住民による自主防災組織の結成を応援し、市を挙げての危機管理体制の構築を進めております。

『暮らしの安全・安心』は生活の基本であります。今後は、先の大震災の教訓をしっかり受け止めながら、さまざまな災害を想定した対応体制の強化・充実や、自助・共助・公助それぞれの役割分担と連携により、防災・減災力



をさらに強化する必要があると考えております。

位置づけ

これまでの1期目は、まちづくりは市民が主役との思いの下、『市民力』の結集を図ったステージであり、市民の手でまちづくりを行う精神と喜びの共有ができた段階でありました。

これからの2期目は、この萌芽たる『市民力』を大輪の花へと成長させるべく、さらに市民の皆さんと共に話し合

い、知恵を出し合い、汗を流しながら、明日への希望に満ちた登別を創り上げるステージにしたいと考えております。

市政に臨む基本的な姿勢

2期目に臨むにあたり、私の基本的な政治姿勢として、次の3点を表明いたします。一つ目は『連帯・協働』であります。

私は、まちづくりに多様な主体が参画することこそ、ふるさとへの愛着を高め、暮らしに対する満足感を向上させ

市としてまちづくりを進める上では、多様な価値観や意見と向き合わなくてはなりません。少数意見を含めて謙虚に傾聴し、誠実に説明を尽くすことこそ、舵取りを任せられた者の使命であると考えております。

私は、これまで同様『公正・公開』の原則の下、一党一派に偏らない市民党の立場を堅持し、一人でも多くの市民の皆さんの声を反映して、まちの未来を創造するため、地域に赴き、対話を重ね、オール登別の取り組みを加速してまいります。

三つ目は『創造・改革』です。人口減少やグローバル化の進展など、大きな時代の変動期にあつて、地方自治体のまちづくりも、そのあり方が問われております。前例に拘泥せず、新たな課題やニーズに対して挑戦する気概が、今、求められております。

私は、登別の新たな成長に向けて、市民力を強化しながら、『公』『民』力を発動させ、登別市全体に行き届くような都市経営を推進するために、創造と改革を推進してまいります。